

通信業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	発着台（高さ53cm）を降りる際、右足から踏み込んだところ、右ふくらはぎに激痛がはしった。	48	30～49
1	14～15	配達中、配達先の駐車場でポスト投函し、その家の駐車場で手に持っている配達物を見ながら次の配達先を確認し歩いた。駐車場の真ん中の芝生を歩いたとき、芝生に段差があり左足をつき、足首をひねってしまった。	57	50～99
1	9～10	局内小包作業場において、配達する小包を振り分ける作業を行い、床置きしていた10kg程の荷物を立ったまま持ち上げたとき、腰に違和感を覚えたが、引き続き作業を続けた。床置きの小さな荷物を右斜めに手をのばし無理な体勢で取ろうとしたところ、腰に痛みがはしり動けなくなった。	40	300～499
1	21～22	CRB（冷凍・冷蔵ゆうパック搬送用パレット）搬送中、EVを出たあたりで膝に痛みを感じた。当日はそのまま業務を続行したものの、痛みが継続した。	22	1000～9999
1	11～12	3階から2階へ階段を小走りで下っているときに左足をひねった。その際、手には何も持っておらず、前方をみていた。	40	300～499
2	15～16	集荷先で、集荷物（15kg程度のダンボール10個、30kg程度の集荷物が入ったファイバー3個）を3階から1階へ降ろしていた。エレベーターがないため階段で降ろしていたところ、ファイバーを持ち上げた際に首と左肩と左肘に電気が走るような痛みがあった。	46	500～999
2	22～23	事業所内1F事務室において、移動パレットの下段にある荷物（約30kg）を区分するため持ち上げたところ腰痛が発生した。	37	300～

				499
2	12~13	バイクにまたがったまま配達（体をねじる動作）を行っていた際、背中から腰にかけて痛みが走った。落ち着くまで少し待機し動けるようになったので、午前中の配達を出来るだけ行い帰局した。帰局後も痛みがひかなかった為、管理者へ報告し病院へ行った。	44	100 ~ 299
2	11~12	配達先アパートの外にある階段を下り、最後の階段を下りた際、腰にピリッと痛みが走った。その日は何とか業務を行い、帰宅した。右足が動かないぐらいの痛みがあった為、病院で診察を受け、椎間板ヘルニアを診断された。	42	500 ~ 999
2	19~20	事業場3階事務所において配達物の押印作業中、処理済配達物のケースをケースカートに移す際に、自身の体をカートの前まで移動せず体を伸ばしてカートに乗せようとした為ケースの重みと不適切な姿勢により腰を痛めた。	62	—
2	11~12	10kgの米袋を両手で抱えて持ち上げた時に、腰のやや右側付近にピリッとした痛みがはしった。	60	1000 ~ 9999
2	10~11	車庫において原付バイクに配達物を積み込み配達に出発するためバイクのサイドスタンドを外したところ、バランスを崩して倒れそうになり、バイクを支えた際に右足をひねって負傷した。	27	100 ~ 299
2	11~12	配達先でバイクを止め、サイドスタンドを立ててバイクから降りた際に、サイドスタンドが十分に立っていなかったためバイクが倒れてきた。そのためバイクを両手で受け止め踏ん張った時に腰を痛めた。	34	500 ~ 999
3	14~15	配達先で車を降りて配達先前の私道を歩いていたとき、民家奥の車庫の陰から鹿が目の前に飛び出してきたため、咄嗟に逃げようとしたところ、湿った泥道で足が滑り、右膝を地面に打ちつけ、右膝靭帯損傷を負った。	49	100 ~ 299
3	13~14	軽四輪車で配達作業中、集合住宅の2階に配達し階段を下りていたところ、右側に折れているところで左足を踏み出し、床についたときに膝に痛みがはしった。バランスを崩しそうになったが何とか体勢を直した。痛みがあったが帰局し、その後、左膝内側側副靭帯損傷および左膝前十字靭帯損傷の疑いと診断された。	25	100 ~ 299

3	18~19	事業場内の区分作業場で、10~20kg程度の荷物をパレットから別のパレットへ移し替えている際に腰を痛めた。	21	500 ~ 999
3	16~17	X線検査装置付近の通路で、空のLRE7台を引きながら搬送中に、滑りが気になり、必要以上に足に力を入れたところ左足脹脛を負傷した。	49	1000 ~ 9999
3	16~17	配達のためお客様宅外階段を降りていた際、階段に右足が滑ってしまい、体勢を崩した状態で右足を負傷した。	28	100 ~ 299
3	23~24	荷物を積み込む作業時に右足を踏ん張ったところ、右足ふくらはぎ付近がプチッと切れた感じを受け、痛みがはしった。	50	1000 ~ 9999
3	10~11	区分機北側モニターの後方を通した際に、床の段差で左足首を捻った。	31	1000 ~ 9999
3	8~9	被災者は小包配達担当であり、当日は午前に出勤し配達のために小包を積載していた時、腰に痛みを感じた。小包は80個程度で普段通りの数であり、重量のあるものでもなかった。痛みがひどくなかったため仕事を続けたが、その後、強い痛みを感じるようになった。	27	100 ~ 299
4	16~17	駐車場でお客様の車が道路に少し車を出した所で動かなくなってしまい、通行の妨げにならないよう動かしたいので手伝ってほしいとの申し出があり、お客さまを含め3人で車を押していた際、膝に負荷がかかり負傷した。	45	100 ~ 299
4	14~15	配達を終えバイクへ戻るときに右足に体重をかけた際に急激な痛みを感じ倒れ、立ち上がれなかった。なお、以前より右足股関節等に痛みを感じていた。	50	100 ~ 299
4	10~11	集荷の際、車からの下車時に腰を痛めた。痛みがひどかったが、得意先で25kg程の荷物を集荷時にさらに腰を痛める。後日に7~800個の集荷を行った際、業務	54	100 ~

		終了時に痛みが走り、ヘルニアを負った。		299
4	21～ 22	3階作業場で小包の品名等点検作業中、パレットの上段に積載された約15kgの小包を両手で持ち上げようとしたところ、左腕に力が入らなくなり痛みが生じ、左肘と頸椎を捻挫した。	61	～ 9999
5	15～ 16	配達物等の到着処理中、パレットから降ろす際15kg前後の荷物を持ち上げようとしたが、体勢が悪い状態で無理に持ち上げたため腰に負担が掛かり、急性腰痛症を発症した。	61	～ 499
5	16～ 17	配達物を区分中、コールセンターの電話が鳴ったため小走りしながら急いで電話機に向かい受話器を取ろうとして、右手を机についた際に手首をひねって負傷した。当初は軽い痛みだったが日が経つにつれて痛みが増し、右手が使えない程の痛みになった（ドケルバン病、狭窄性腱鞘炎）。	52	～ 299
6	12～ 13	バイクで配達中、配達先へ到着し、バイクを降りようとした際、右腕上腕部に激痛がはしった。	59	～ 9999
6	8～9	配達前の準備中、大物のファイバーを持ち、下へ下ろす時に力が加わって、左上腕部を負傷した。	47	～ 299
6	12～ 13	営業のためお客さま宅を訪問した際、玄関先の庭石（飛び石）から足を踏み外し、右足を捻った。	55	1～9
6	15～ 16	バイクで走行中、後部キャリーボックスが外れてバイクが転倒した。（本人は転倒していない。）転倒したバイクを起こそうとして、腰に痛みを感じた。	24	～ 299
6	11～ 12	フラットソーター側ケースラインから、仕分け済みの追跡配達物ケースを発送する作業中、両腕と両手を痛めた。	25	～ 9999
	16～	事業場内倉庫の書棚（高さ2m×幅1.5m程）に書類が入ったダンボール（縦13cm×幅20cm×奥行40cm）を並べて保管している。このダンボールのうちの1つを正		100

6	17	面から右手で掴み、引っ張り出したところ、右手の平から肘にかけて激しい痛みがして、屈筋を断裂した。ダンボールの重さは、1kg~10kg位であり、見た目では判別することは難しい。	55	~ 299
7	12~13	美容室に配達し、店から出ようとドアを開けようとしたところ、店内にいた子供が後からドアに向かってきたので、店の外に出ると思い、子供がドアに挟まれないように左手でドアを押さえつつ、方向を変えてドアを押さえようとしたところ、出口前の段差になっているところで左足を踏み外し捻った。そのまま配達を続け、午前の配達を終え帰局し統括に報告。痛みがあった。左足首ねんざと診断された。	60	~ 299
7	18~19	集荷作業中、約30kgの荷物を台車で車まで運び、最後の集荷だったため、後部荷台の一番上に持ち上げた。その際、右のお尻に痛みを感じが、その日は一時的な痛みと思い、最後まで仕事を続けた。翌日朝、右太腿から右踝まで痺れと痛みが出て、治療を受け、腰椎捻挫、仙椎関節炎の診断が出たもの。	60	~ 9999
7	10~11	マンションへ小包の集荷に行った。小包は玄関の手前側と奥に2個置いてあり、1個目を台車に乗せ、2個目を台車に乗せるために手前に引き寄せようとしたところ、腰に痛みを感じた。どうにか集荷し、ひとまず郵便局に戻ったが、痛みがひどくなってきた、腰部捻挫と診断された。	43	~ 499
7	12~13	現場で地上から足場に移動する時、材料（瓦5kg）を運ぶ作業中、地上から高さ1メートルの足場に足をかける時に足が滑り、背骨を骨折した。	40	~ 499
7	5~6	荷受場で折りたたんだ状態のカゴ車を所定の位置に戻そうとした際、強風でカゴ車（縦45cm×横110cm×高さ165cm、重さ20kg）が倒れ左足小指を強打し骨折した。	54	~ 9999
7	7~8	業務開始1分前に、朝礼場で体操するため待機していたところ、同僚から出勤登録が漏れていると指摘を受け、急いで出勤登録の入力をしようと集配事務室内を走った。出勤登録ができ、再度朝礼場へ向かうため全力で走っている時、肉離れ（左足を踏み込んだ際）となった。	50	~ 999
		配達時、配達先宅前路上に停車、上半身をひねりながら降車しようとした際車両		

7	14~15	が不安定で両腕で踏ん張り二輪を支えようとしながら降車、持病であった腰痛が発生し、激痛により支えることができず二輪車をそのまま倒し動けなくなった。	54	50~ 99
7	11~12	配達途中、2階から1階へ下りる際、階段を踏み外した。（6段目あたり）結果、左足三角骨を剥離骨折した。	31	300 ~ 499
7	13~14	到着パレットAの上段よりBの下段を移動させていた。左手首に違和感を感じたため手をストレッチしようとグーパー1回握ったら手首に激痛、その場にうずくまった。痛みがあったときは宅配物を触っていない。（今までも関節が詰まる感じがあり、右利きだが左手で荷物を持つことが多かった。）	41	100 ~ 299
7	8~9	1階作業場において、小包配達の準備作業中、パレット下段から小包（2~3kg）を下へ向いて取ろうとしたとき、腰に痛みが生じた。	58	100 ~ 299
7	11~12	配達中、配達先の前でバイクを止めブレーキをかけたところ、前輪がすべり転倒しそうになったため支えようとした。その際、左足に力を入れたため、捻って膝下を負傷した。	42	300 ~ 499
7	11~12	配達業務に従事中、配達先手前にある段差を上がったときに右足に強い痛みがはしり、そのまま動けなくなった。（足を捻った等の所作はなく、いきなり痛みが出た。）当初は、右足関節捻挫の診断であったが、別の病院で受診したところ、右足関節靭帯断裂が判明した。その後、靭帯が繋がった後も痛みがひかないため、再度受診したところ、アキレス腱の断裂も判明した。	56	100 ~ 299
9	14~15	配達を終え、お客様宅玄関階段の最後一段を下りた時、着地時に左足を砂利にとられ強くひねってしまった。	59	300 ~ 499
9	15~16	集荷先の倉庫から、20キロ入りの米を軽四輪車へ積み込み作業中、8個ほど積み込んだところで急に腰に痛みがでたものである。	36	500 ~ 999
		自局に到着した物品を保管しているグレーのパレットの上段に積んであったコ		

9	9～ 10	ピー用紙の箱（A4・10束入り）を下に降ろす時、箱の重量を右手親指の付け根の部分で受け止めてしまったため、負傷した。当日、医療機関を受診し靭帯損傷と診断される。	59	500 ～ 999
9	15～ 16	集荷先にて直置き荷物の（10～20kg程度）を台車に乗せようと持ち上げた際、腰に激痛が走ったものである。	62	1000 ～ 9999
9	7～8	郵便局内の作業場で、郵便物の配達準備をするため、定形外郵便物が多く入ったケースをカートから持ち上げた時に腰を痛めた。	52	300 ～ 499
9	10～ 11	構内発着所にて、車両のキャリーボックスに郵便物が入っているファイバーを入れようとしたところ、腰に激痛が走った。10分以上直立のまま、その場から動くことができず、上司とともに病院へ行き受診。診断の結果、ギックリ腰（腰椎捻挫）と診断され、投薬と湿布を処方された。	32	100 ～ 299
9	13～ 14	バイクで郵便物を配達中、バイクを停めておられる際に左足がステップとギアの間挟まりひねって足を痛めた。	30	100 ～ 299
9	23～ 24	1階小包郵便物作業場において、小包郵便物の区分作業中、30kgの米の入った小包郵便物をローラーに載せる為持ち上げて、左から右に腰をひねった際に負傷した。	39	500 ～ 999
9	14～ 15	本社4階倉庫内にて、中間決算の棚卸作業中、ゴルフボールやマグカップの入ったケース（17.5kg）を棚から床へ降ろそうと手前に引き出した際、想像以上の負荷が一気に腰にかかり、ぎっくり腰を発症した。	38	100 ～ 299
9	10～ 11	郵便局区分場の地域ケース置台最上段にあったケースを下ろそうと左手だけで引いたところ思った以上に重たかったため、反射的に右手でパレットケースを落とさないよう踏ん張った際、右手首を捻り負傷した。	41	1000 ～ 9999
9	10～	発生者は定形外郵便物等が入ったケースを運ぶため持ち上げようとした際に、腰	24	300 ～

	11	を痛め負傷した。		499
9	1~2	パレットケースをフライトコンテナに積み込み作業中、3段目を積もうとした時に腰に痛みを感じた。	34	1000 ~ 9999
10	13~ 14	お客さま宅郵便受箱へ配達を終え、二輪車へ戻ろうとしたところ、段差に気づかず足をとられてバランスを崩した。その際、強く踏ん張った時に右足じん帯を負傷した。	43	300 ~ 499
10	20~ 21	お客さま宅へお米を配達するため、お米を抱きかかえていた。入口の門が狭く体勢を崩してしまい持ちなおした際に首と背中を負傷した。（不安定な状態で首と背中に力が入ってしまったため。）	58	300 ~ 499
10	10~ 11	倒れた集配用バイクを起こそうとしたが、前カバンと後ろのファイバーに荷物を満載していたため、容易に起こせず、グッと力を込めた際、腰部で「ポキッ」と音がして、腰椎を圧迫骨折した。	58	100 ~ 299
10	12~ 13	砂利道をバイクで走行中、転倒しそうになり左足で踏ん張ったところ、左足半月板を痛めてしまった。	40	100 ~ 299
10	2~3	バック作業場において、何度も反復して、重量物を運んでる時に物量が多くたくさんのお米が積んであるパレットを動かそうとしたら、右膝に強い力がかかってしまい、右膝が痛くなった。次の日に右膝が腫れてきた。	57	1000 ~ 9999
10	23~ 24	鉄製パレットを組み立てるため保管場所からパレットを手前に動かした際、パレットが被災社員と反対側に倒れたので咄嗟に支えようとして腰を捻った。	54	100 ~ 299
10	15~ 16	ポストに入らない定形外追跡郵便物を対面配達後、配達完了入力が気になり携帯端末を確認しようとしたため階段1段を踏み外した。	43	300 ~ 499
	13~	バイクで配達している途中、配達前にバイクを停めて降りようとした際に、左足が足元の氷で滑り左膝が内側へ入って左膝に痛みがはしった。痛みはあったが		100

11	14	そのままその日は配達を行い終了した。翌日になっても痛みがあったため、職場へ連絡をした上で病院で受診した。	50	～ 299
11	12～ 13	被災者はお昼休憩のため、配達先から帰局し地下駐輪場へ自転車を止めた。自転車から降りようと自転車でまたがった状態から右足を床についた時、床に付着していた汚れに足を滑らせ膝を捻った。	39	～ 299
11	17～ 18	集荷物を倉庫に収納する為、トラックの荷台から荷物を降ろしていたところ、荷台にあった長物荷物が崩れ落ち荷台から落下した。右足に当たり負傷した。足に当たった長物荷物の重量は約15kg、又当日は規定通り安全靴を着用していた。	35	30～ 49
11	10～ 11	めっき棟1Fの支保工足場上で、型枠解体作業を行っていた。上部型枠支保工の解体作業に気をとられ、足元の布板と、鋼製足場板の隙間に、左足を踏み外して左足ふくらはぎに擦り傷と打身の受傷した。	49	～ 499
11	16～ 17	C号棟の配達を終え、バイクに戻る途中の階段を下りる際、上から2～3段下りたところで、右足を挫き、転倒しないように左足でバランスを取ろうと左足をついたところで、左足も捻り両足を負傷してしまった。	49	～ 499
11	3～4	社員は小包が積載されたパレットを搬送するため、パレットを動かしていた際、腰に負荷がかかり、急激な痛みが走り負傷した。	58	～ 999
11	3～4	社員は小包が積載されたパレットを搬送するため、パレットを動かしていた際、腰に負荷がかかり、急激な痛みがはしり負傷した。	58	～ 999
11	12～ 13	配達途中、階段を上った先にある家に配達後階段を下りている最中に、足を踏み外して足首が曲がり骨折した。	56	～ 299
11	15～ 16	配送業務中、通数を記録していたところ、犬2匹が吠えながら近付いて来たため、下り坂を走って逃げた。その際、地面に着地した左足の膝が伸びた状態のところに体重がかかり、違和感を覚えたため受診したところ、左膝関節血腫、左脛骨骨挫傷と診断された。	24	～ 299

11	13~ 14	配達するため、バイクを停車しサイドスタンドを立ててバイクから離れようとした際、バイクが倒れそうになったので避けようとして足を捻り痛めた。	19 ~ 299	100
11	15~ 16	小包の積み卸しをする作業場において、みかんの小包（10kg~20kg）を引き受け、積み卸しをしていた際に腰部を痛めた。（33個の引き受けがあった。）	43	50~ 99
12	19~20	お客様宅への配達を終え、建物西側の外階段を下り、車両へ戻る途中、最後の段に着地した際、右足首を大きく捻り、負傷した。	42	100 ~ 299
12	15~16	職場の休憩スペースで、ソファに横になっていた状態から起き上がる際に、ソファの端に足をかけた為踏み外し、足の甲から着地し、強く捻った。	41	1000 ~ 9999
12	10~11	3階集配事務室内において、戸別組み立て作業中に通路にあった配達物が山積みのカゴを移動しようと持ち上げた際、腰に激痛を感じた。	55	300 ~ 499
12	9~10	3階集配営業部フロアにて、出勤処理をしようとした際に躓き、左足を捻った。	60	100 ~ 299
12	15~16	徒歩で配達先に行くため、バイクから降りようとしたところ、腰に激痛が生じた。腰から右臀部、右足にかけて痛みがあり、身動きが取れなくなったため、職場に携帯電話で連絡を取り、救急車で病院へ搬送された。腰痛の持病はないが、当日は昼頃から少し腰に違和感があったとのことである。	31	100 ~ 299
12	19~20	地下駐車場で配達で残った小包を降ろす際、軽四輪自動車のトランクのドアを閉めるときに左手に小包を抱えていたためバランスを崩し、右手をトランクのドアに伸ばしたところ右胸に激痛がはした。	55	100 ~ 299

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)